

令和3(2021)年10月20日

灯りを活用したアフターコロナ魅力発信事業の実施について

産業観光部 観光振興課

(0284-20-2165)

総合政策部 まちの魅力創出課

(0284-20-2261)

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要の回復及び地域経済の活性化を目的とし、あしかがフラワーパークと連携して標記事業を実施することといたしましたのでお知らせします。

令和3年度は足利市制100周年の節目の年であるとともに、あしかがフラワーパークにおいてはイルミネーション開催20周年という時節であることから、あしかがフラワーパークと連携した共同事業を展開することで、同園の持つ集客力を最大限活用した効果的な情報発信を行い、本市の魅力を市内外へ広くPRするとともに、これからの100年を見据えた交流人口の増加を図るものです。

記

- 1 事業主体 足利灯りのある街づくり実行委員会
- 2 実施期間 令和3(2021)年10月～令和4(2022)年2月
- 3 実施場所 あしかがフラワーパーク、史跡足利学校、石だたみ通り
周辺 ほか

4 事業内容

①特設WEBページの開設(10月～)

足利市の秋から冬への魅力を訴求するための特設WEBページを作成し、様々なホームページ等とリンクさせ、WEB上で広く情報発信します。

②WEBバナー広告による情報発信(10月～12月)

LINE等のSNSへバナー広告を出稿し、WEB上から足利市の旬な情報や魅力を掲載した特設ページ等へのアクセスを促します。

③インスタグラムフォトコンテストの実施(11月～2月)

あしかがフラワーパーク主催のインスタグラムフォトコンテストへ参画し、同園のイルミネーション並びに足利のまちなかをコンテンツとしたインスタグラムコンテストを開催することにより、市内回遊を促進するとともに、WEB上での足利市の魅力拡散を図ります。また、足利市の名産品をコンテスト入賞者への記念品とすることにより、足利市の更なる魅力発信と観光PRを行います。

④花手水イベントの実施(11月)

史跡足利学校内に花手水を設置して更なる魅力を演出し、観光客の滞在時間を延長させることで、まちなかの経済活性化を図ります。

⑤フラワーキャッスルでの足利市の魅力PR(10月～2月)

あしかがフラワーパークの「フラワーキャッスル」において、本市の魅力PRをプログラムした光の演出を行うことで、来場者の関心を引くとともに、タイムリーなイベント情報を情報発信します。新型コロナウイルス感染症の影響により都内でのキャンペーン等が難しい中、約50万人の来場者がある同園のイルミネーションにおける効果的な足利市のPR及び市中心部への観光誘客を行います。

⑥光と灯りの共同チラシ作成による魅力PR(10月～11月)

「足利灯り物語2021秋(11月13日～21日予定)」とあしかがフラワーパークイルミネーションとの共同チラシを作成し、双方の魅力をPRすることで、「光と灯りのあるまち」としての認知度を高め、リピーターや口コミによる新規来訪者の獲得につなげます。

⑦セブンチケットによるまちなか回遊事業(10月～2月)

あしかがフラワーパークのイルミネーション入園券と史跡足利学校の参観券、史跡足利学校周辺の協賛店舗で使用できる共通のお買い物券を3点セットにしたお得な企画チケットを販売し、あしかがフラワーパークの来場にあわせたまちなか回遊の促進を図ります。

⑧あしかがフラワーパークでの夜の着物着付体験(1月)

足利まちなか遊学館で実施している着物着付体験を、あしかがフラワーパークと連携して行い、同園での着物の着脱も可能とします。さらに着付体験利用者に同園の割引チケットを販売するなどの特典を付けることで、夜間における着付体験の需要を喚起し、本市ならではの観光資源である足利銘仙の魅力を広くPRします。

⑨足利市の魅力及び移住促進等PR(10月～2月)

足利市の魅力や移住定住に関する情報を掲載したチラシを作成し、あしかがフラワーパークの協力を得て同園のチケット販売窓口においてチケットと併せて配布してもらうことで、移住定住の促進を図ります。

⑩あしかが美人のトマトを使用した商品の開発

あしかがフラワーパークのイルミネーション開催期間に合わせ、あしかが美人のトマトを使用したオリジナル商品の開発(あしかが美人トマトポテトチップス等)を同園と共同で開発することで、食の面からも足利の魅力を発信します。